

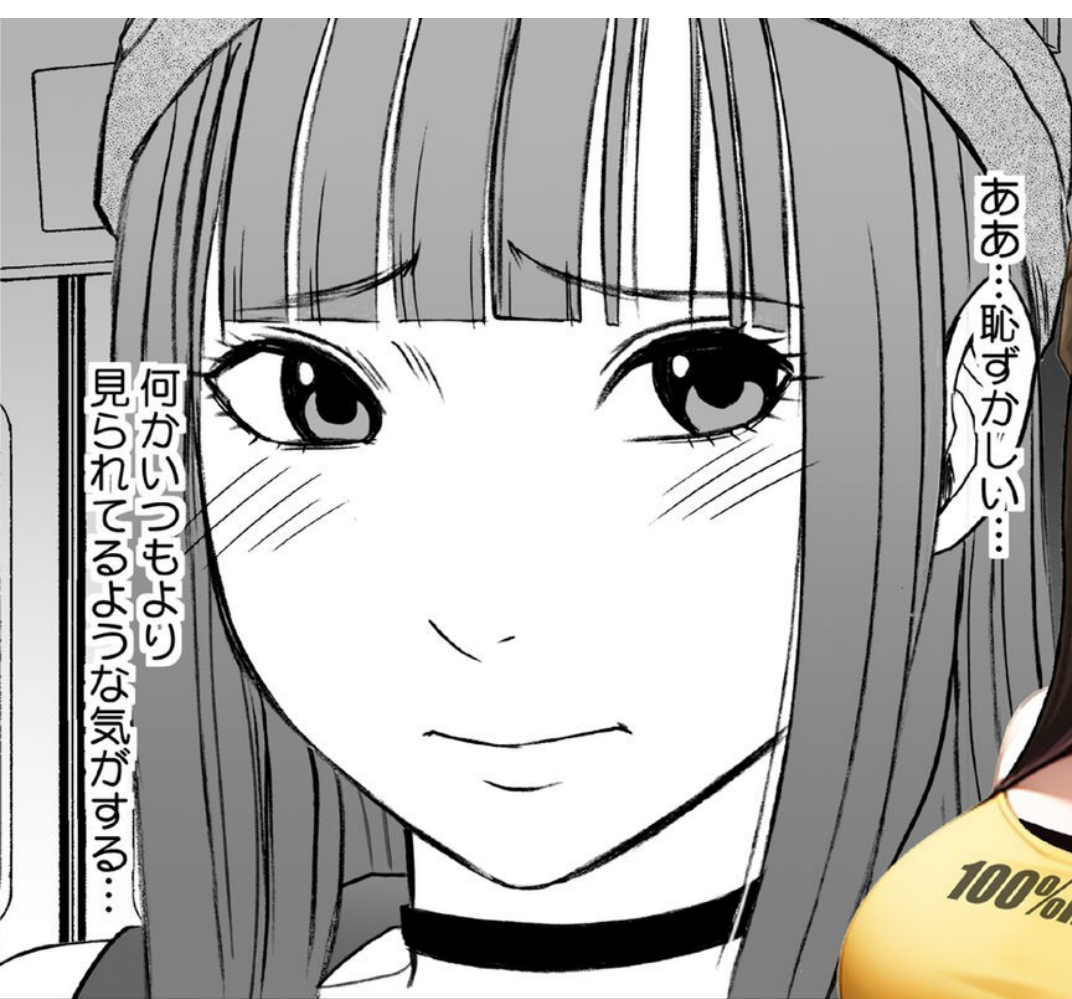


イキそうなのか?

73P

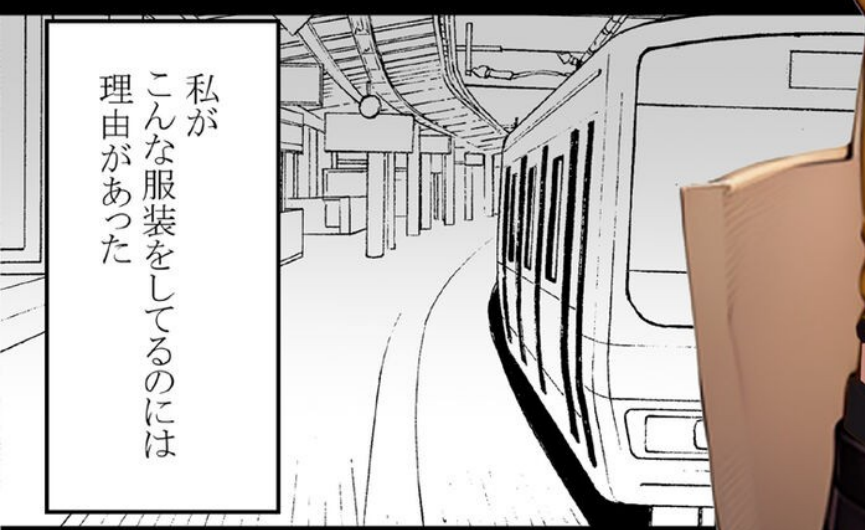
ヴァージン・トレイン R

せつかくは... できるから... 大丈夫だ



何かいつもより
見られてるような気がする…

ああ…恥ずかしい…



私が
こんな服装をしているのには
理由があった



人一倍
痴漢にあうから


それは
私が



家から大学までの
一時間半

乗り継ぐこと
電車3本…


そこで私は
毎日のように
痴漢されていた



そっとお尻を
撫でられたり

電車に揺られてるフリをして
肘でつつかれたり…

多い日には一日に
2度も痴漢されることもあった



嫌で嫌で
しようがなかったけど

私はこの
自分から
はつきりと
声を出せない性格のせいで

今までずっと
損をしてきた

そこで友人に相談したところ

何か痴漢ってミニスカートとかの女の子よりも

地味で抵抗しなさそうな女の子のほうを狙うらしいよ

だからみつちゃんも逆にエッチな服装にしたら痴漢されなくなるんじゃない？



でも！たしかにいつもよりも男の人たちが私に密着してこない！

それどころか心なしか少し距離があいてるような！

ホントにアオイちゃんの言ってた通りなのかも！



アオイちゃんに薦められるままにこんなギャルみたいな服装になっちゃったけど！

ホントに大丈夫かな！

ちよつと恥ずかしいけど

痴漢されないのであればこんな服もいいかも！

そう心の中で思い始めていた時

それを
あざ笑うかのように

一人の男の手が

ズッ

私の体に伸びてきた



第1話

揺れる電車と 支配者との遭遇



!!

いやっ…
痴漢…？

うそっ…
やっぱりこの服でも
ダメなの？

さわわ



普段こんなに
短いのを
はかないから
知らなかったけど

ミニスカートって
こんなに
無防備なの？



うしろめ…

こんなミニスカートじゃ
手の感覚がダイレクトに伝わってくる…

手が地肌にあたっちゃっ！

さわわ
さわわ



どうしよう…！
このままじゃ
いけない！

抵抗しないと…！

そう思ったとき…



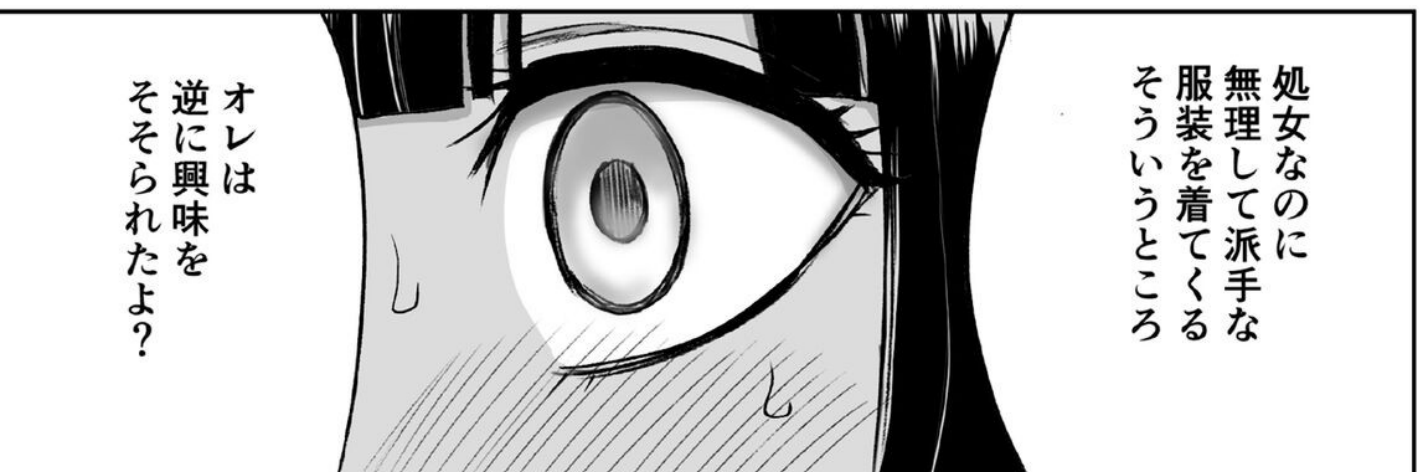
キミ…
地味な服装で
よく痴漢にあつた
コだよな

……!!



派手な服装にしたら
痴漢にあわないとでも
思った？

確かに
他の痴漢たちは
敬遠するかも
しれないけど…



処女なのに
無理して派手な
服装を着てくる
そういうところ

オレは
逆に興味を
そそられたよ？

その一言で
私の抵抗は凍りついた

私は
この男の人に

すべてを
見透かされている

そんな
錯覚に陥って

フフフ…
普段はジーパンや
厚手のスカートをはいて
痴漢の手の感触を
『防御』していたんだろうけど

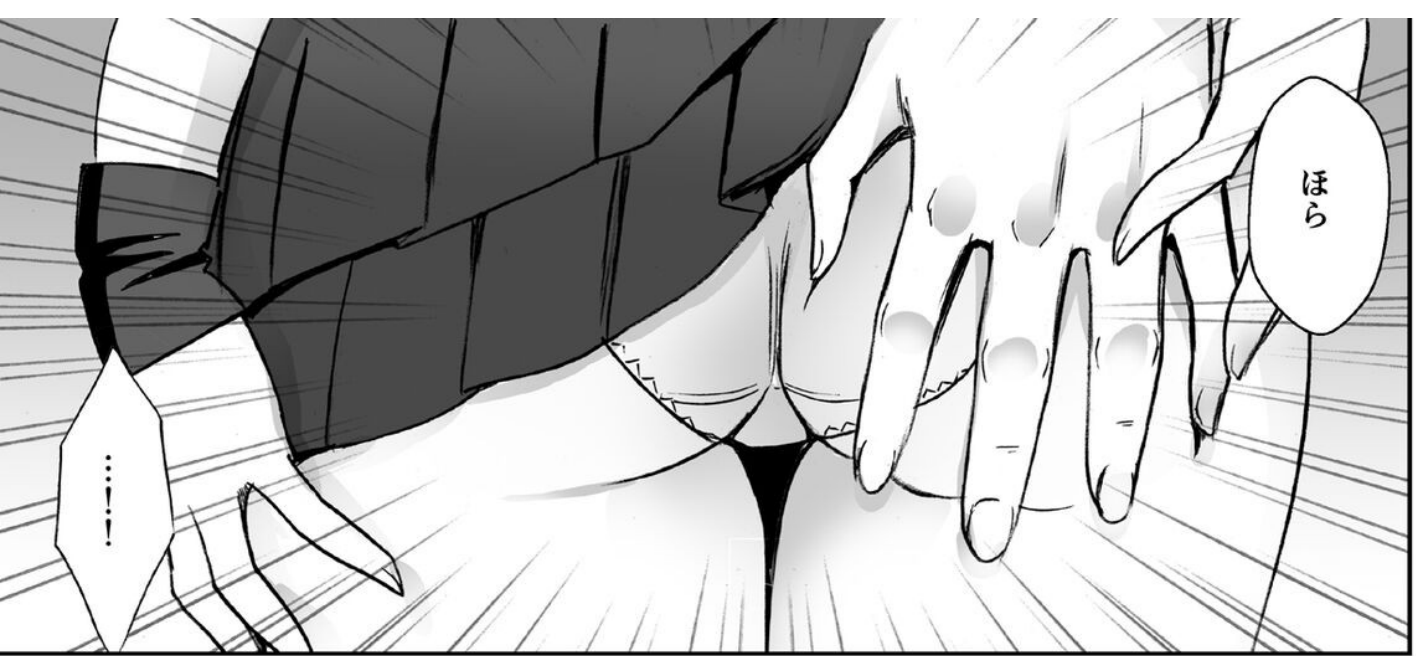
今日のミニスカートじゃ
何も防ぐことができないね

何もできなくなっちゃった

ガタン

さわ
さわ

ガタン







その男はさらなる
追い討ちをかけてきた



ブラジャーが！



ブラジャーは地味な
ままだったね

見せかけだけ
派手にしても
内面は地味な処女のまま
まさに
今のキミを
あらわしている
ようだね

さて…
じゃあここからは

キミのもっと
内側の

誰にも
見せたことのない
部分に
触れていこうか

ああっ！

やだっ…何これ…！

この人の触り方…！

こんな初めて…！

100%heart

胸がしびれる！

しびれる

はじめての感覚で戸惑ってるのかな？

しびれる

本当に男の人に触られるってことがどういふものなのか

首筋がビリビリする！

頭のとっぺんがゾクゾクする…！

痴漢にはさんざん触られたことがあるけど男性経験はまるでない君に

声…声が出そうになる…！

しびれる

ズリ♡ズリ♡

ズリ♡ズリ♡

ズリ♡ズリ♡

しっかりと教えてあげようか



この男の手...

もどかしいと思う
ポイントを意図的に作り

絶妙なタイミングで
そこを触ってくる



それを
繰り返されるうちに

私の性感は
どんどん高まって...

100%heart



胸責めで
感じさせられ
翻弄されている間に

ドキッ

スッ

私の股間は
いつものまにかー

100% Cat

!!!

んんん



やっぱり気持ちよく
なっちゃってたんだね

結構
濡れてるね



ココを触られるのは
初めてなのかな？



それから数十分間

私は一方的に
騷られ続けた

カタン

ほあ

ほあ

カタン

パンツの上から
アソコを擦られ


胸を揉まれ
乳首をつままれる

100%heart






手で止めようとしたり
逃げようとしたりしても



動きを読まれているのか
カンタンにいなされ



また触られる…



その繰り返し

私にとつて
それまでの
痴漢はただ

『気持ち悪いのを
ガマンする』

それだけの
ものだった

でも今は違う

今…私は

100%heart

『気持ちイイのを
ガマンしてる』

クハクハ





目が眩みそうになるほどの
恥ずかしさと…

今まで体験したことのない
未知の感覚…

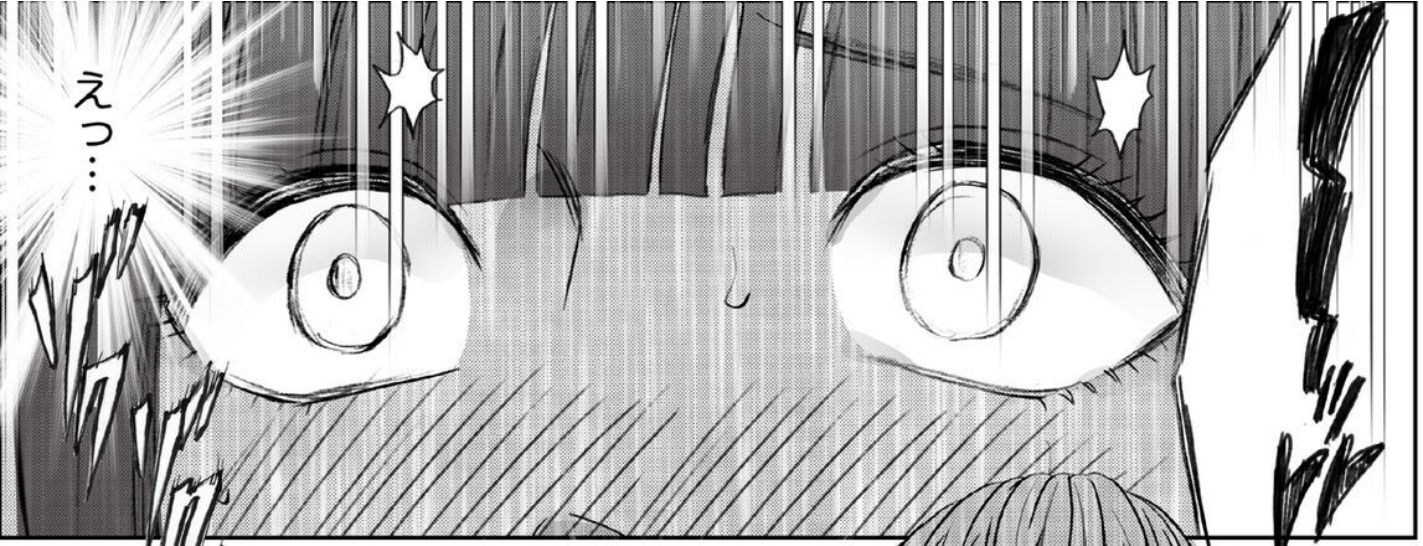
100% heart

ひとつの終わりが
見えた

そこに
突然

耐え続けた

終わりがないかのように
思えるほどの時間



えっ…



カラダが熱くなつて…!!



待って…!
な…何これ…!?

この感覚…!!



何かが果てそうなの…!!

キッ
キッ





しかもその様子を見ると
今までイッたことが
ないようだな

フフフ…

恥ずかしい…!!
恥ずかしくない…!!

いっしょ!!



何で…!!

こんなこと…!!



やだ…!!
ガマンできない…!!

触られているところが
気持ちよくなって…

アハハハ



電車の中で
知らない男に
触られて

人生で
はじめての絶頂を
迎えるか?



でも...

でも...!

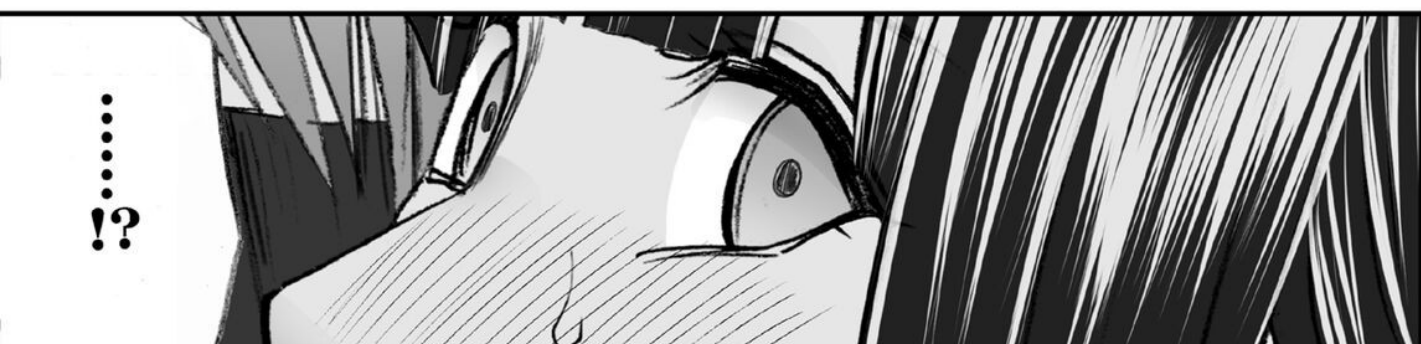
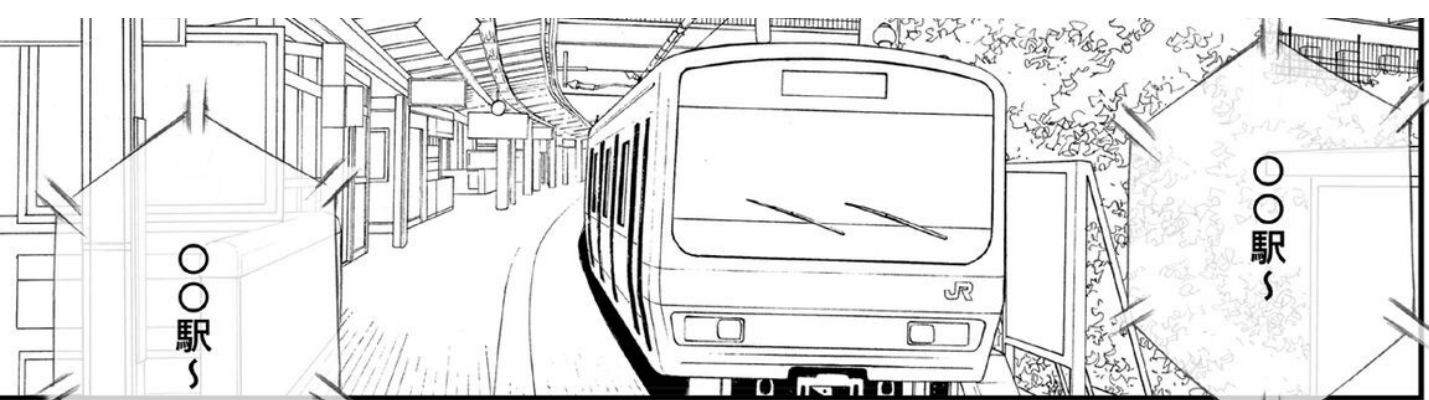
私このまま...!

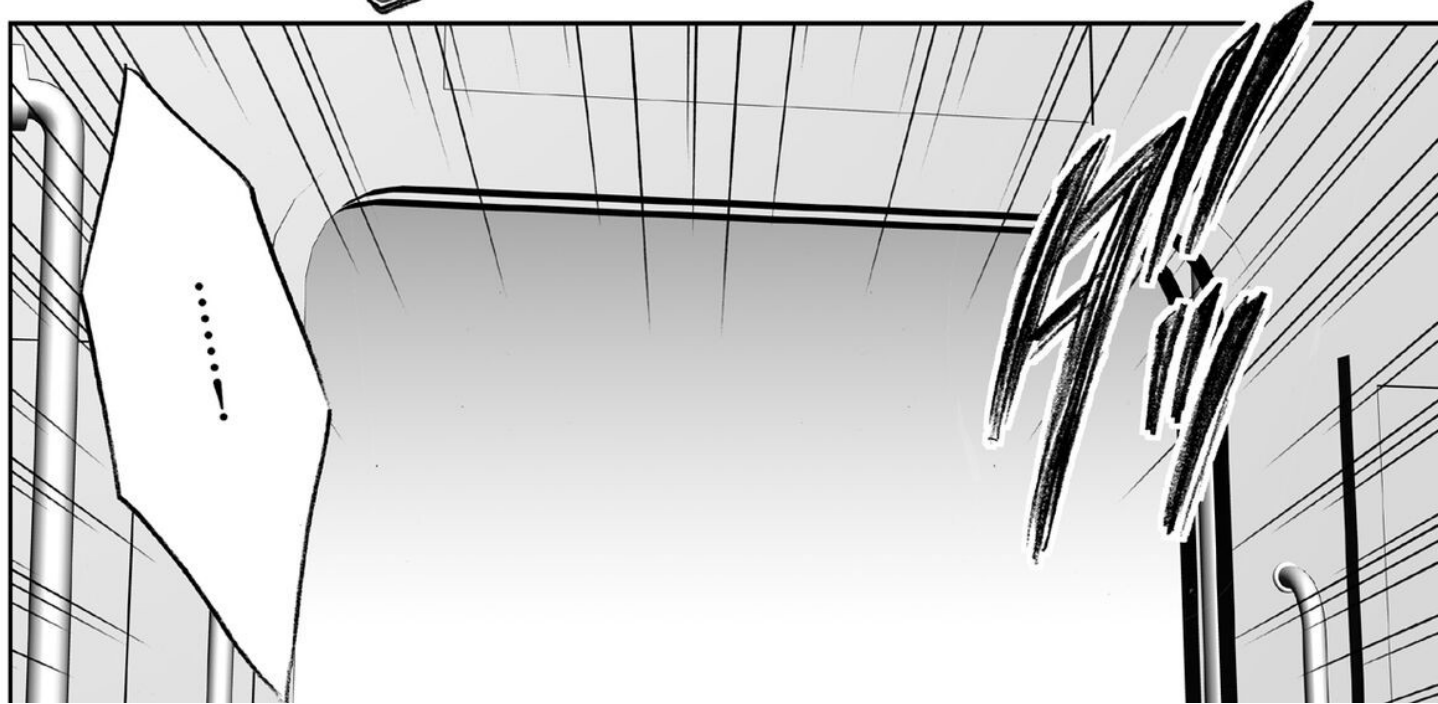
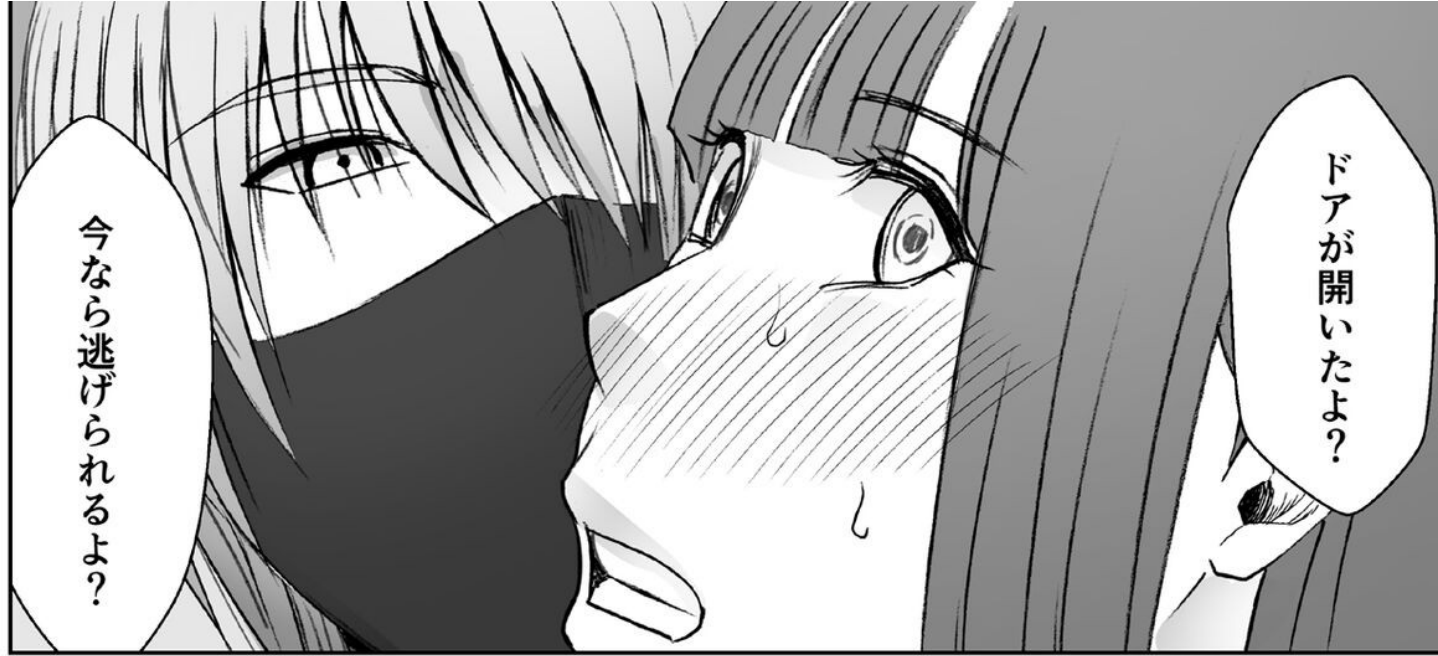
びん

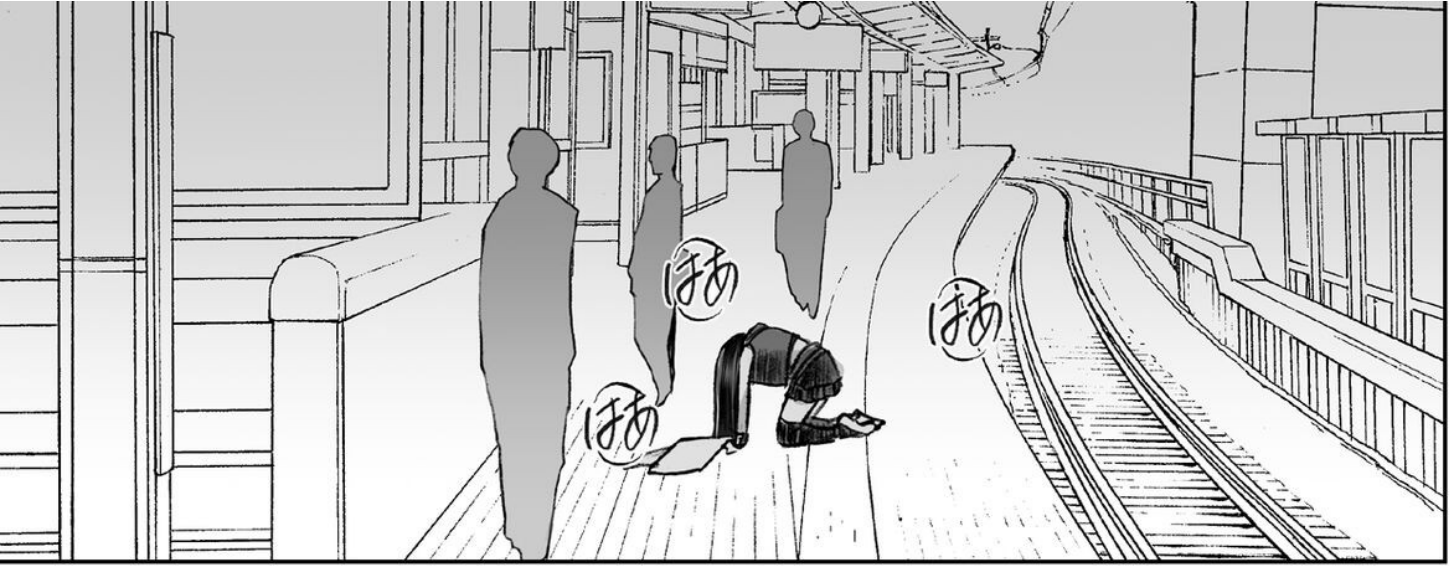
びん

ガッ


ガッ











大学までの
1本目の電車と
2本目の電車…

この二つは
よく痴漢にあうから

いつも気を
張ってなくちゃ
いけない…



でも3本目の電車では
痴漢にあったことはない

それは3本目の電車は
比較的に空いていて
いつも座れるから

この車内だけは
安らげる空間だった

ガタン

それにしても

あの人は
何だったんだろう…



不思議な声で
囁いてきて…

キミ…
地味な服装で
よく痴漢にあったた
コだよな

……
!!



しかも私…
もう少しでイキそうに…

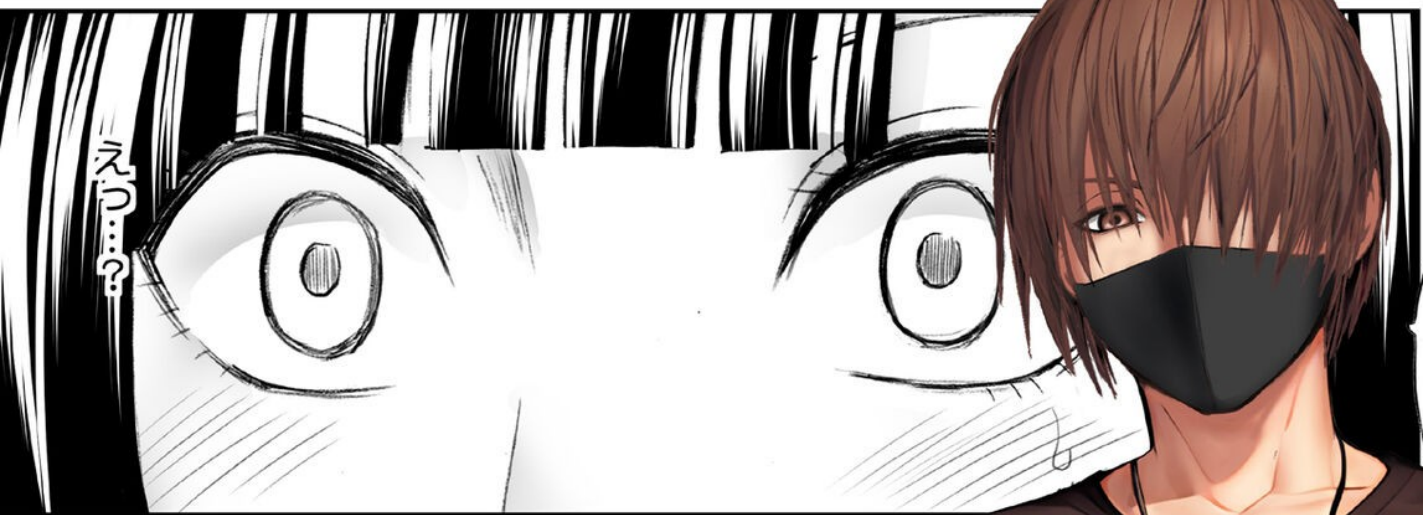
アソコまで…

あんなふう…
胸やお尻だけじゃなく…



私は痴漢の手で
なんか…!

違う…
そんなことはない!



第2話

清純なカラダに
潜んでいた素質



うそ…！

フフフ…どうしたの？
震えてるよ

また
さっきの男が追ってきたことに
動揺してるのかな？

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
また…
この人…！？



さすがにここまで
追ってくるとは
思っていなかっただろうし

まさかここでも…！

この人本当に
私を狙って…？

まさかこんな座った状態で
痴漢をされるとは
思っていなかったのかな？

100%heart

ああ…この
イスに座った状態じゃ…

んっ…

もっもっ

でも怖がらなくても
いいんだよ…

優しく触って
あげるからね

びんびん

…っ！

もう逃げられない！

100%heart





ソコを触られるじ…

やっぱりもう
気持ちよくて
どうしようもないんだね

100%heart

さっきまでの感覚が
戻ってくる…!!



私…ちろぎの電車でイキそうに…!

イキを止めて…!

電車を降りたときから私のカラダ…
火照ったままで…!

このままじゃ…!





今…そこを触られたら私…!!

やっ!

アソコを直接…?!
そんな…!!

さんざん触られて
濡れてるアソコを…!!



じゃあ
今から

手を入れて
直接アソコを触るから



えっ…!!



イヤならはっきりと

声に出して拒絶
したほうがいい





100 art

SHUN

やッ…やっぱりダメ…!

許して…くださいッ!

ヌル♡

本当にそう
思ってる?

さっきの電車を降りるときも
そうだったよね

せっかく逃げることに
できる駅に到着したのに

びく♡

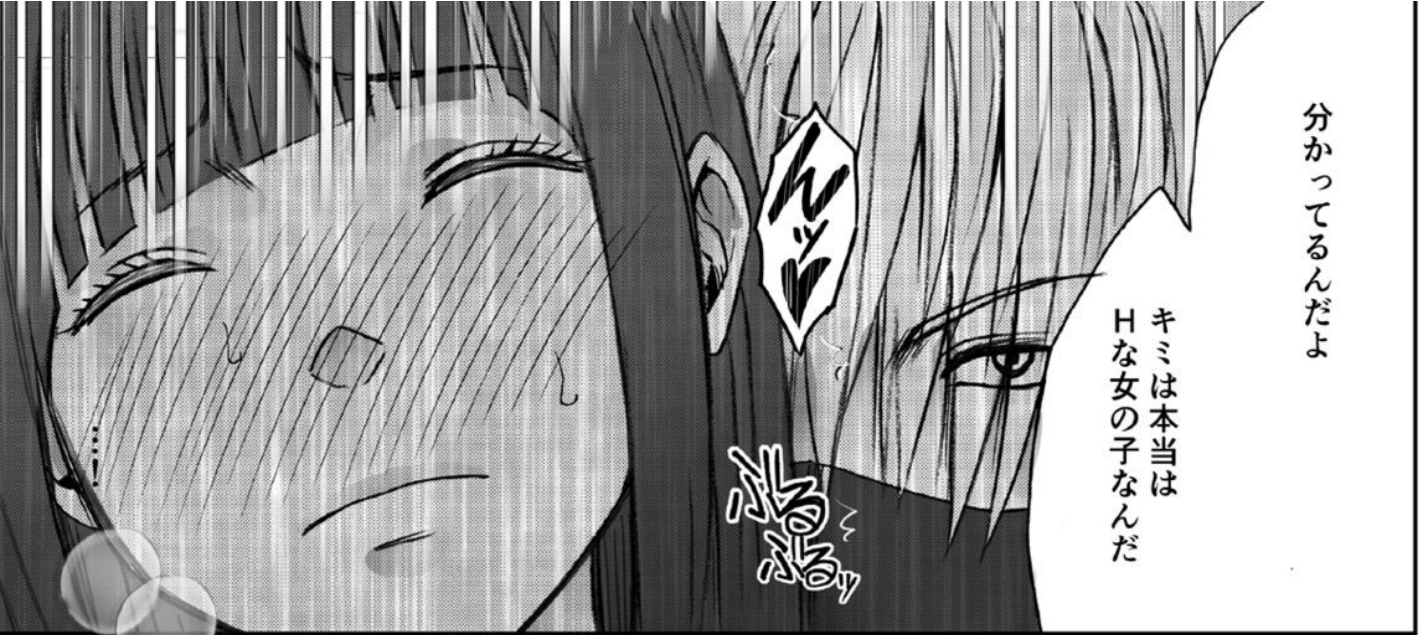
びく♡

もうちょっとで
イキそうだったから

一瞬降りるかどうか
ためらったよね

びく♡

びく♡



分かっているんだよ

キミは本当は
Hな女の子なんだ



キミのHな素質を



電車の中で
痴漢されてるキミを見て
いつも思ってた

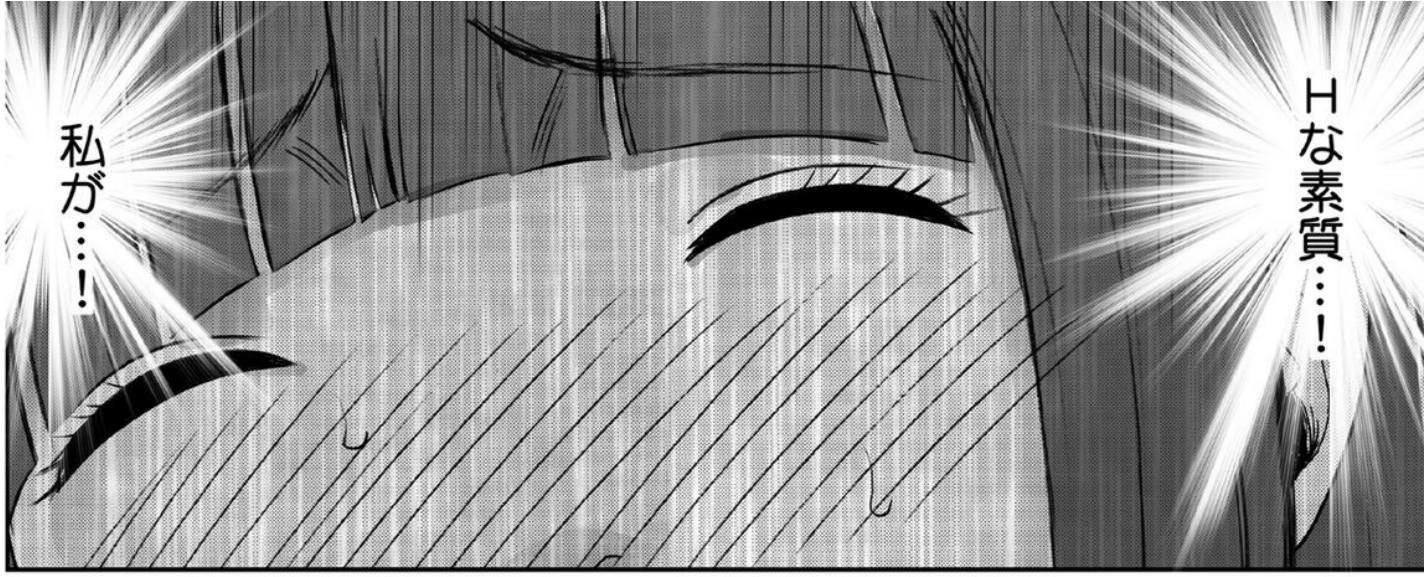
キミはHな素質を
秘めてるって



なぜキミばかりが
Hな男たちに狙われるのか…

男たちも無意識のうちに
嗅ぎ分けてるんだろぅね





私が…!!

Hな素質…!!



へたくソな男たちに
痴漢されてるキミを見ていて
もったいないと思ってたんだ

…!!

オレならキミの素質を
もっと上手く
開花させることが
できるって

ハッ

ドキッ

ダメ……！
もう何もわからない……！

フフフ……
電車の中で
胸を露出
させられて

でも「気持ちいい……！」

興奮が
抑えきれなく
なってるよね

これがイクってことなの？！

ズンズン

ダメなのに……！

こんなところで
イツちやったら
ダメなのに……！

こんな無理矢理……
ダメなのに……！

ムムムム

ムムムム



その時の私には
もう

どうすることも
できなかつた



もちろんそれが
いけないことだとは

分かっていた



それでも



そして…

2本目の電車で
カラダを徹底的に崩され…



1本目の電車で
心を挫かれ…



5月4日：

通学途中の
3本目の電車で

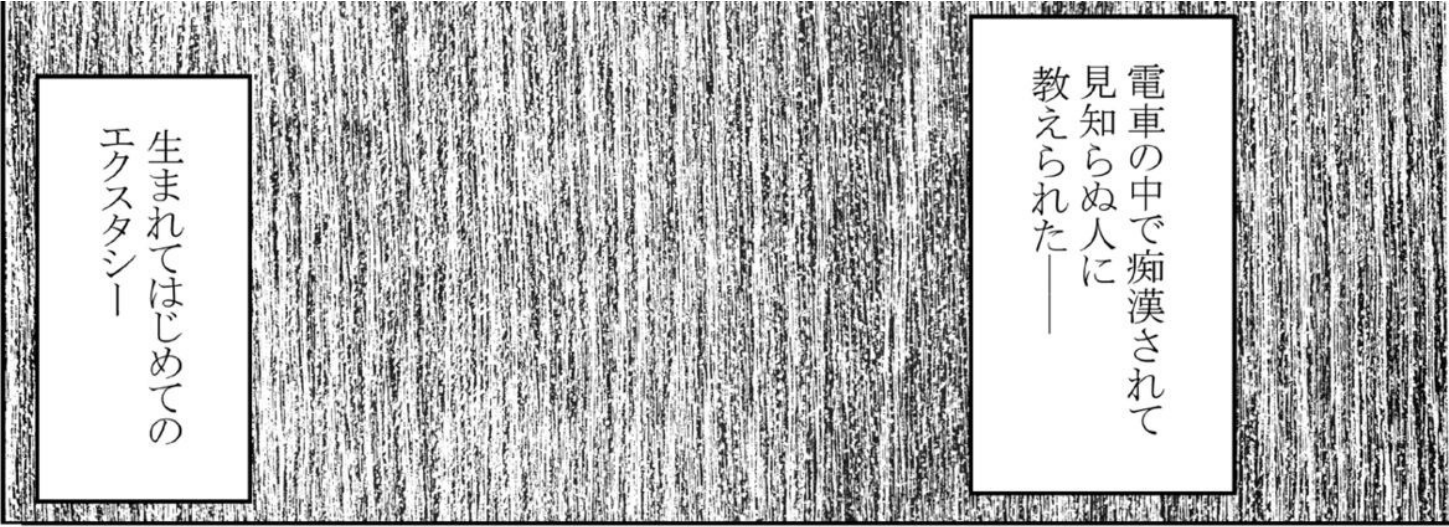
オナニーでイッたことも
無かった私は

見ず知らずの
男の手によつて

私は生まれて初めての
絶頂を


教え込まれた：






電車の中で痴漢されて
見知らぬ人に
教えられた――

生まれてはじめての
エキスタシー



その日はもう何も
頭に入らなくて

一日中呆然としたまま
帰宅した……



家に帰って
気づいたんだけど

バッグの中に……



第3話

強制じゃないけど

強制に近い誘導

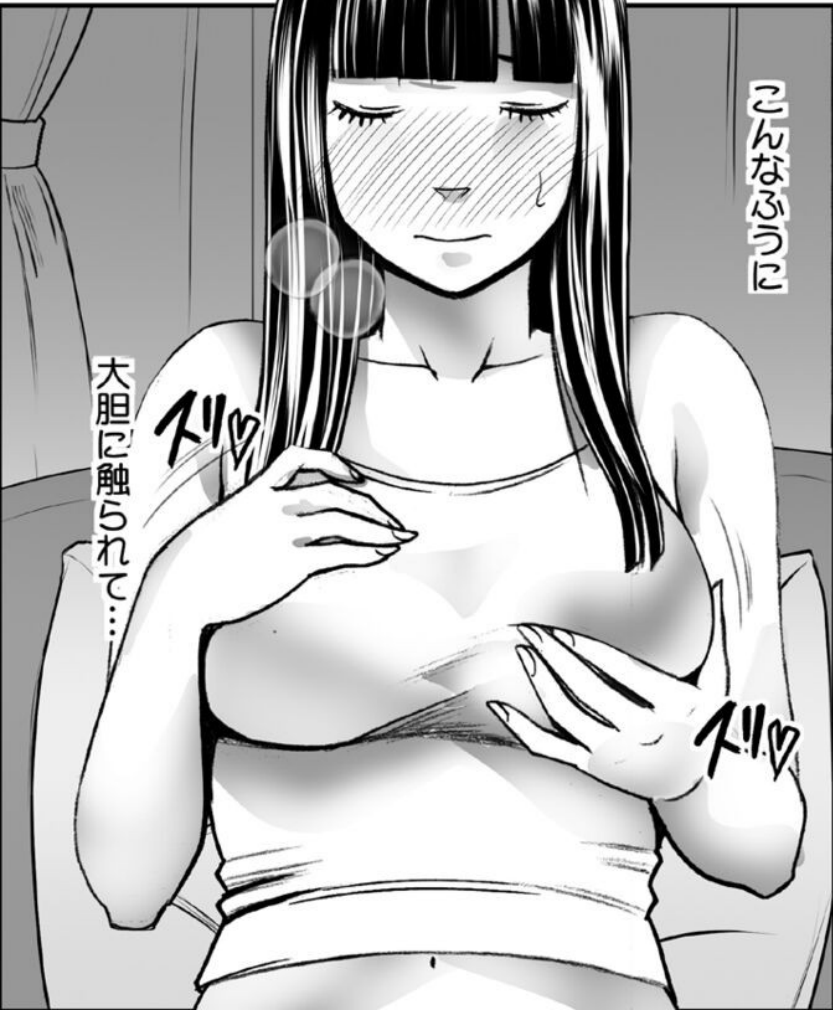


やだっ...どうしよう私...

.....

また今朝のこと
思い出してきて...

ズッ



こんなふうに

大胆に触られて...

スリ♡

スリ♡



今日は...
電車の中で胸を...

.....!!

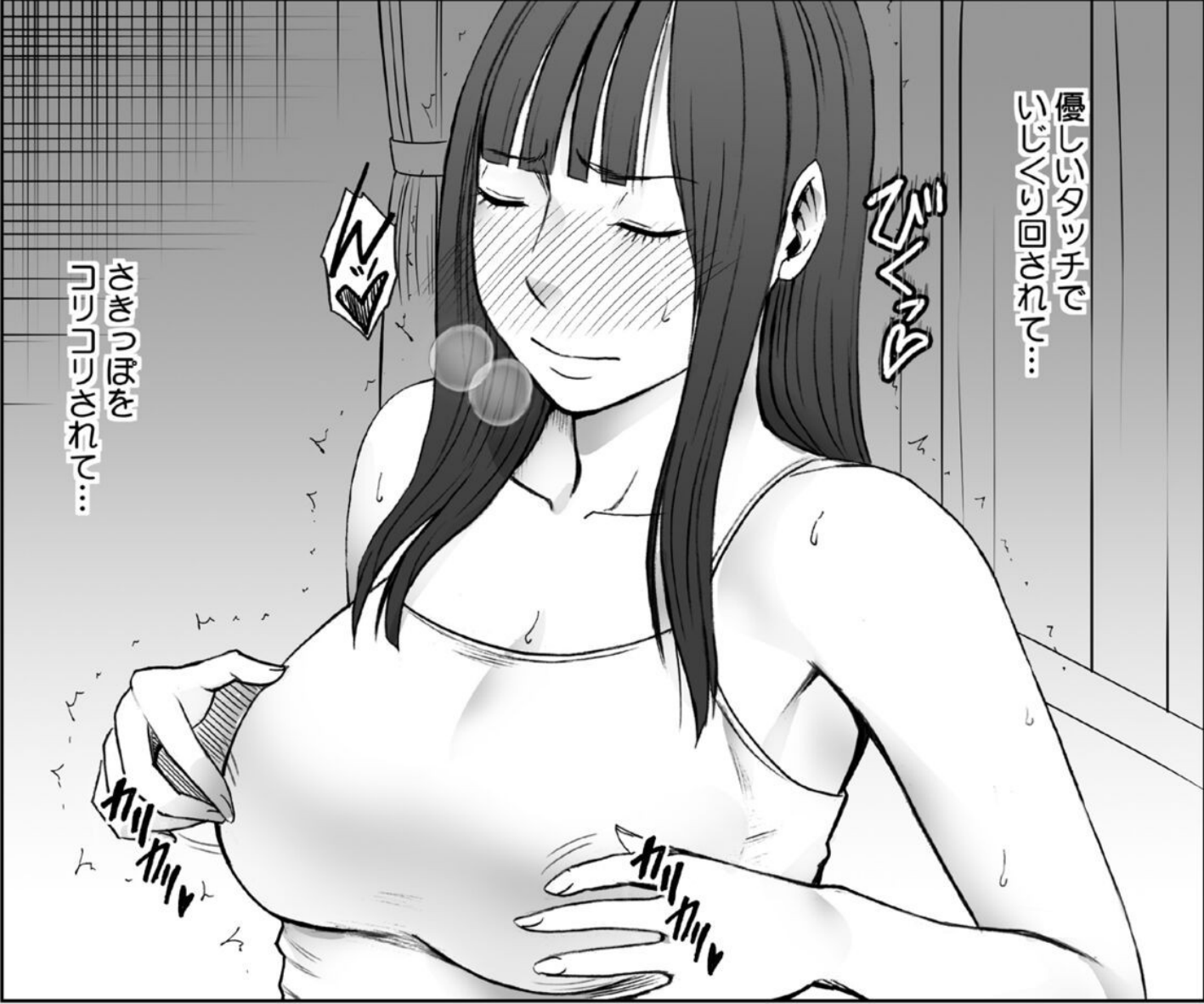
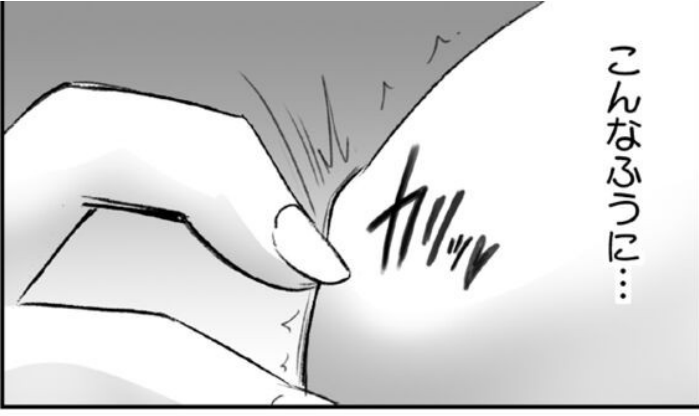
フワフワ...したの？

私の胸が濡れてきたわ...

胸を...

まだ...
この人...？

ムキムキムキ





胸だけで
あんなに
感じるなんて...

あの人の指の動き...

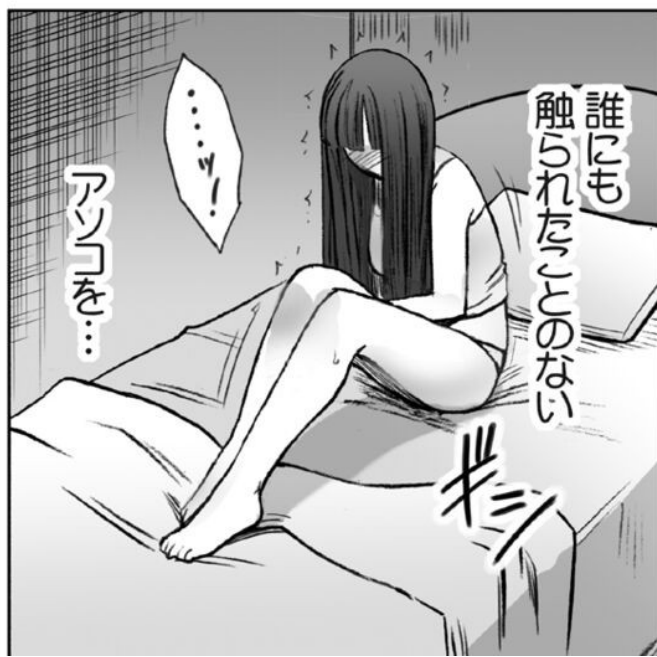
どうやって
触ってるのか
分からなくなると
うまくて...

びんびん

びんびん

んんん

んんん



誰にも
触られたことのない

アソコを...

...



それに...
乳首だけじゃなくて...

アソコも...

こんなふうに...

優しくなでる感じで...

スッ

パンツの上から
何度も何度も...

スッ♡
スッ♡

スッ♡
スッ♡

何十分も
触られ続けて...

触られて...イヤなはずなのに...
恥かしいはずなのに...

私：電車の中で
あんなに感じて…

最後の電車では
パンツの中にまで手を…

濡れたアソコを
指を入れてられて…!!

止めなきや
いけなかったのに…!!

もう…
止められなかった…!!





やだっ！

びんびん

私…何を考えてるの？



ダメ…！

アハハハ

あの時のことを
思い出しながら
オナニーしてるっ…！



あの人の指が
動きたびに…

どんどん
引きずり込まれていって…

キキ

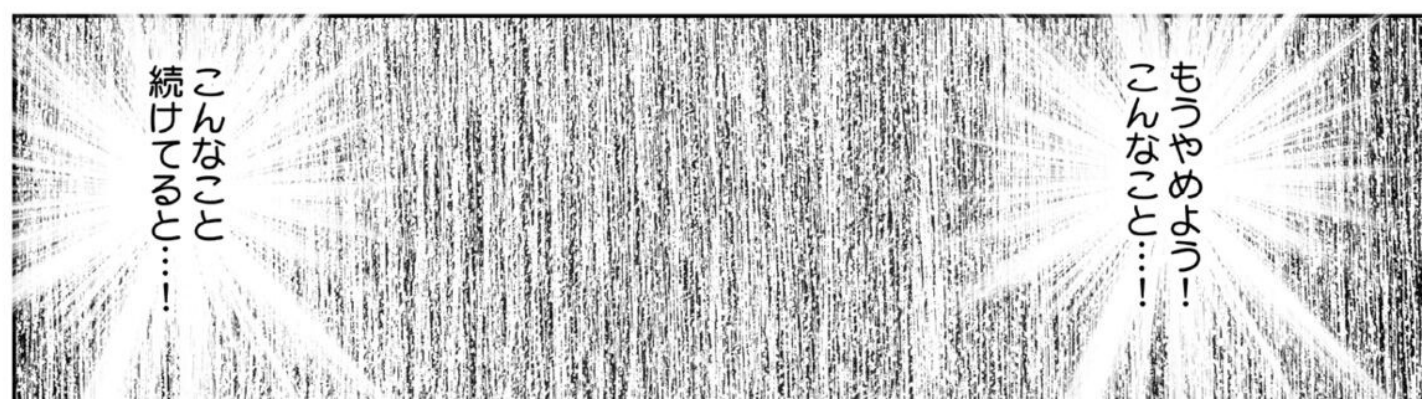
あ

びんびん

ほっ

キキ

スハハハ



もうやめよう！
こんなこと…！

こんなこと
続けてると…！



あのときの感覚が蘇ってきて…

あの人に…
弄ばれてるみたいなの錯覚に…

こんなこと
やめないと…！

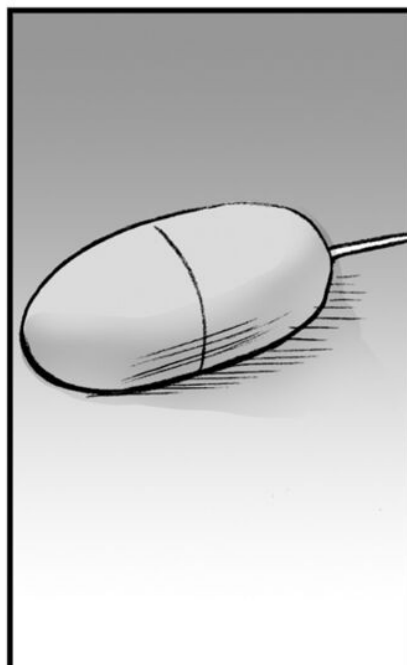


このままじゃ
終われなくて…！



カラダが火照って…！

でも…でも…！



ちよつとだけ…!!

ほんの
ちよつとだけ…!!

ホントはダメ…

こんなこと
ダメなの…!!

ほあ

ほあ

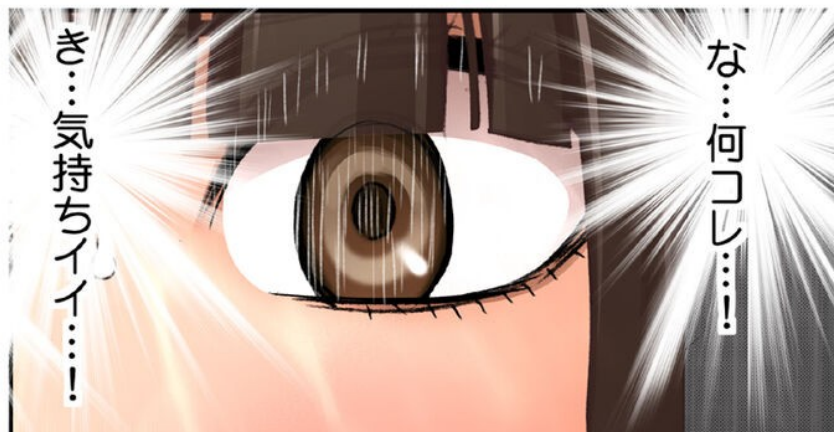
痴漢にもらったローターで
オナニーするなんて…

そんなの絶対に
いけないこと…

ちよつと試したら
すべからぬ…

だから…

ズッ





このままじゃ
すべーんちさじりー!

痴漢にもらった
□ーターなんかで
イクなんて…

こんなことしたら…



……!



オレならキミのHな素質を
もっと上手く
開花させることができるって



まるであの人の

思い通りに
なってるみたいで……!

ち…違う！

私はHな女の子
なんかじゃない！

違うの！
絶対に！

もう終わじしー！

早くローターを
止めないと…！！

ローターを…！！

本当にもう
やめようと思っていた

でも…
引き返せなかった

そればかりか

今日一日分の快感が
一気に蘇ってきて…

妄想が
止まらなくなつて…



また電車で
あの人と遭遇した
私は

前回よりも
もっと大胆なことを
されて



徹底的に
何度も何度も
イカされて



何も
できない…!

電車の中で…
されても…!

きつと
私…!

何もできずに…!



耳元で
ゾクゾクするような
言葉を囁かれながら

びんびん

びんびん

びんびん

体の奥まで
感じさせられて

ひりひり

ひりひり

今までに
味わったことのないような
快感で翻弄されて…!!





それまでの私のオナニーは
ただ気持ちよくなる
だけで

イクところまでは
行つてなかった

でも...

一度男の人に快感を
覚えさせられた
私のカラダは...

もう止まることは
できなかった...

その日...結局

疲れ果てて眠るまで

6回もエクスタシーに
達した...